

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	201	科目名	スタジオ実習 I		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	榎本 悟・斎藤孝行・菅谷正之		履修区分	必修	
開講学年	1	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	実習
教科書	講師作成資料			参考書			
成績評価	授業態度 20%、レポート提出 20%、筆記テスト 20%、実技テスト 20%、講師評価 20%						

1. 授業概要

番組制作時のテレビ業界の基礎用語や常識、ルールを理解する。また、スタジオ業務の基礎知識を習得する。この授業では、教員のスタジオでの技術スタッフを統括する立場であるテクニカルディレクターの実務経験を活かし、学生がスタジオでの番組制作の一連の手順や留意すべき事項をより実務的に習得する事が可能。

2. 到達目標

2年次の実習に対応出来るよう基礎技術を習得する。

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介 授業の説明 職種説明 安全について スタジオ機材説明。
2	カメラ映像についての座学 スタジオカメラ実践体験。
3	照明概論 照明機器説明 サブ機材実践体験 (SW ミキサー 照明卓 CG) 八の字巻実習。
4	ペDESTALカメラ実習 (ドリー ズーム フォーカス) ハンディーカメラ体験 音声ミキサー卓実習 (マイク 音出し)
5	CAM SW 体験 (自己紹介を兼ねたインタビュー形式の対談でスイッチングを体験)
6	CAM SW 実習 (詩の朗読 音楽再生でカット/オーバーラップ練習)
7	CAM SW 実習 (ランウェイウォークでカット/オーバーラップ/ワイプで複合練習・カメラワーク強化)
8	番組制作体験実習 (旗揚げゲーム、床で神経衰弱でゲーム感覚で実習)
9	番組制作体験実習 (叩いてかぶってジャンケンポン、椅子取りゲームでゲーム感覚で実習)
10	これまでのまとめ 反省 プレビュー ディスカッション 総合実習に向けてのプラン作り
11	総合実習・トーク番組 SW 強化実習・ライティング強化実習
12	総合実習・通販番組 音声強化実習・CG 実習 (特に人物の動きのある内容で検討)
13	総合実習・ワイドショー番組 (スタジオ MC パネラー/リモート中継リポーター ゲスト)
14	実技テスト準備 対策 補習
15	実技テスト カメラ
16	実技テスト 照明
17	実技テスト 総合
後期	
1	前期振り返り 後期プラン 照明強化実習
2	サブ機材強化 八の字巻強化 照明強化実習
3	ペDESTALワーク強化 ジブワーク体験 音声 ミキサー卓強化
4	ハンディーカメラ強化番組実習 音声 ミキサー卓強化
5	ジブワーク強化番組実習 音声 ミキサー卓強化
6	総合番組制作実習 1 プラン
7	総合番組制作実習 1 リハーサル
8	総合番組制作実習 1 本番
9	総合番組制作実習 1 反省 総括
10	総合番組制作実習 2 プラン
11	総合番組制作実習 2 リハーサル
12	総合番組制作実習 2 本番
13	総合番組制作実習 2 反省 総括
14	総合補修

15	期末試験対策
16	期末試験
17	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	放送映像学科	
科目番号	215	科目名	スタジオ実習 II		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	高梨、鈴木、斎藤、加藤 他		履修区分	選択必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	8	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	平常点や授業の貢献度 65% 番組制作課題作品の評価 35%						

1. 授業概要

実習毎に設定されるテーマに応じて番組制作をグループ毎に行い、より実践的なスタジオ番組制作技術を習得する。この授業では、教員のテレビ番組のカメラマンやスイッチャーの実務経験を活かし、学生が生放送のテレビ番組制作に必要な事項を、より実務的に習得することが可能。

2. 到達目標

テレビ番組制作に関わる人材として通用する技能と意識を身に付ける

3. 授業計画

前期	
1	自己紹介をして、自己紹介のVTRを収録する。
2	ケーブルの巻き方、カメラのレンズの脱着の仕方を学ぶ。
3	人物を撮るときのサイズを学ぶ。
4	人物への照明の当て方、音の取り方を学ぶ。
5	一人しゃべりの撮影の仕方を学ぶ。
6	二人対談の撮り方や照明のあて方を学ぶ。
7	三人対談の撮り方、照明のあり方
8	四～六人の対談の撮り方、音の取り方、照明のあて方を学ぶ。
9	銅像を使って照明の当て方、カメラワークの仕方。
10	クレーンを作ってクレーンワークの仕方を学ぶ。
11	歌番組を制作して、カメラ、音声、照明のレベルアップを計る。
12	紙芝居を撮影する①
13	紙芝居を撮影する②
14	紙芝居を撮影する③
15	クロマキーの合成技術を学ぶ
16	前期まとめ 総復習①
17	前期まとめ 総復習②
後期	
1	歌番組を撮影する。
2	オリジナル番組を作る①
3	オリジナル番組を作る②
4	リモート番組を作る
5	UNOの取り方を学ぶ①
6	UNOの取り方を学ぶ②
7	料理番組を企画準備する
8	料理番組を撮影する
9	生放送の企画、準備①
10	生放送の企画、準備②
11	生放送の撮影
12	学校CM企画、準備①
13	学校CM企画、準備②
14	学校CM撮影

15	今まで制作した番組のプレビュー
16	ペダスタルの動かし方を復習する。
17	カメラワーク、サイズの復習をする。

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	TVディレクター学科	
科目番号	0213	科目名	ドラマ制作実習		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	金田和樹		履修区分	必修	
開講学年	2年	開講学期	通年	単位数	12	授業形態	実習
教科書	なし			参考書			
成績評価	提出課題 60% 授業姿勢 20% 出席 20%						

1. 授業概要

ドラマ制作の基礎を学ぶことにより、ドラマのみならずバラエティーの再現シーンなども含め、いろいろな番組制作に対応できるような考え方・手法を身につける。チームの中で役割を果たすことや、状況に応じての対応など、実践的に行動することを意識しつつ、さらに、発展させて考えられるようになる。そして、社会に出ていく上で「企業が欲しい人材・ともに働きたい仲間」とは何か、特にテレビ制作者として何を大切に、どんなことに気を付け、今後を見据えていくか、自ら考察できるよう導く。

実務経験教員としてドラマ制作の現場での経験を活かし、企画・台本作り、コンテ作成、撮影・編集などでのノウハウ、仕事生きた知識を教えることが出来る。現場で活躍する作家や、演出家、俳優らを授業に参加させ、学生が本物を目の当たりにして学習できる場を用意していく。

2. 到達目標

ドラマを通じ、社会人になった時に制作現場で自ら進んで判断・行動できるように、経験を積む。

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス。ドラマとは何か、考え方、総論。
2	ドラマの企画書。発想。アピールポイント。
3	企画書に込められた制作者の思い・熱意。
4	企画書。表紙の作り方。企画意図について。リサーチ。
5	企画書。登場人物の掘り下げ。履歴書作り。
6	企画書。ストーリーの書き方。
7	企画書講評。
8	台本作成。柱の立て方。
9	台本作成。セリフとト書き。
10	台本作成。主観と客観。
11	コンテ作成。サイズとアングル。
12	コンテ作成。アクションカット。
13	コンテ作成。ドリー、ズーム、パンワーク。
14	編集。基本のつなぎ。ズリ上げ、ズリ下げ。
15	編集。様々な手法。
16	MA、音楽、効果音。フェードとカット。
17	前期ふりかえり。
後期	
1	ディレクター論、演出プラン、判断と統率。
2	スタッフ論、制作スケジュール、予算や許可申請。
3	美打ち、ロケハンについて。
4	ミニドラマ企画、役割分担。
5	ミニドラマ台本作成1。

6	ミニドラマ台本作成2。
7	ミニドラマロケハン・美打ち。
8	ミニドラマリハーサル。
9	ミニドラマ撮影。
10	ミニドラマ編集。講評。
11	卒業制作ドラマ1。
12	卒業制作ドラマ2。
13	卒業制作ドラマ3。
14	卒業制作ドラマ4。
15	卒業制作ドラマ5。
16	卒業制作ドラマ6。
17	卒業制作ドラマ講評。ドラマ制作経験を生かすために、まとめ。

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	クロスメディア情報学科	
科目番号	205	科 目 名	プログラミング I		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	青山 留美		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	本格学習 Java 入門		参考書				
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)15%、定期試験 50%、提出課題 35%						

1. 授業概要

Java 言語によるオブジェクト指向プログラミングを学ぶ

2. 到達目標

プログラム言語「Java」を通じてプログラミングの基礎を身につけ、プログラミングする際の問題解決手順であるアルゴリズムも同時に習得する。

3. 授業計画

前期	
1	イントロダクション 第1章 プログラミング言語 Java 開発環境 JDK のインストール
2	第2章 JShell による Java プログラミング体験 プログラムの基本
3	第3章 型と変数 基本型
4	第3章 型と変数 変数 配列
5	第4章 演算子 代入演算子 算術演算子
6	第4章 演算子 比較演算子 論理演算子 2進数
7	中間試験
8	第5章 条件判断 if else
9	第5章 条件判断 switch
10	第6章 繰り返し for
11	第6章 繰り返し while
12	第7章 メソッド プログラムの実行 eclipse のインストール
13	第7章 メソッド main メソッド メソッドの書き方 引数
14	第7章 メソッド 戻り値
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学 科 名	クロスメディア情報学科		
科目番号	206	科 目 名	プログラミングⅡ		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	専門科目	担当講師	青山留美		履修区分	必修	
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	6	授業形態	演習
教 科 書	本格学習 Java 入門			参考書			
成績評価	平常点(出席率・授業態度・理解度等)15%、定期試験 50%、提出課題 35%						

1. 授業概要

プログラミング言語 Java を用いてプログラミングの基礎を学ぶ

2. 到達目標

プログラム言語「Java」を通じてプログラミングの基礎を身につけ、プログラミングする際の問題解決手順であるアルゴリズムも同時に習得する。この授業では、教員が企業において java を使った Web アプリケーションプログラム開発経験で培った、java のプログラミング方法や作法を学生に伝えることが出来る。

3. 授業計画

後期	
1	第 8 章 クラス オブジェクト、インスタンス、コンストラクタ、クラスの継承などを再確認 シンプルな Dice クラスを作って理解を深める
2	第 9 章 例外処理 例外の種類と補足、例外クラスの作成方法 Dice クラスをベースにクラスを作る(ルーレット、じゃんけん、おみくじ)
3	第 10 章 データの入出力 コマンドライン引数、Scanner のデータ入力、ファイルへの入出力 繰り返し実行する Game クラスを作成(サイコロゲーム、じゃんけんゲーム)
4	第 11 章 マルチスレッド シングルとマルチの違い。 スレッドクラスの継承と Runnable インターフェースを使ったマルチスレッド化及び同期について
5	第 12 章 ネットワークプログラミング ネットワークインターフェースやアドレス、ポート番号、ソケットなど用語の解説と通信の仕組み
6	クライアントとサーバのプログラムを作成して通信する。プログラムを改良し複数クライアントに対応 Robocode のインストールと体験
7	中間試験範囲の復習
8	中間試験
9	13 章 GUI とイベント処理 Swing で Java の GUI 作成、レイアウト、イベント処理について理解する
10	グラフィックスの出力とタイマーでアニメーションを作成 ゲームプログラミング(TinyPong の作成)
11	課題作成:・文字の出力・平方根の計算・2次元配列の操作
12	前回解説 課題作成:・for 文を使って繰り返し出力・曜日の配列作成・2018 年 1 月のカレンダーを作る
13	前回解説 課題作成:・条件分岐(if 文、switch 文)を使ってソウルナンバー(運命数)を算出
14	前回解説 最終の課題・テキストファイルを読み込んで暗号化と復号化・swing でアニメーションを作りボタンで ON/OFF する のいずれかを作成
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説最終課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学 科 名	クロスメディア情報学科
科目番号	208	科 目 名	Web デザイン演習 I	科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子	履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	前期	単位数	4
授 業 形 態	演習				
教 科 書	Web クリエイター能力認定試験 HTML5 対応エキスパート公式 テキスト		参考書		
成績評価	平常点 10%、定期試験 60%、発表・提出課題 30%				

1. 授業概要

Web デザイン制作に関連する画像編集グラフィックソフト Photoshop の基本操作習得と html5、CSS、Dreamweaver の基本操作を習得する。

2. 到達目標

写真素材等を WEB 掲載用に加工、Web サイトのパーツ、アイコン等の作成ができ、基本的な WEB ページのコーディングができる

3. 授業計画

前期	
1	ガイダンス 基礎知識と用語確認(ビットマップとベクトル、ファイル形式、単位等) Photoshop 基本操作(選択範囲作成ツール・クイックマスク・レイヤーマスク・アルファチャンネル等)、画像合成
2	Photoshop 基本操作 画像の合成(レイヤーマスク) 文字操作
3	Photoshop 基本操作 写真の合成、バナー制作
4	Photoshop 基本操作 写真の修整、バナー制作
5	Photoshop 基本操作 写真リサイズ・トリミング ペンツールを使用してアイコンを作成
6	Photoshop パーツの作成 (タイトル画像・ナビゲーション用ボタン画像等を作成する)
7	中間試験
8	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
9	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
10	Dreamweaver-html 文章をマークアップする (html の構造、タグを覚える)
11	Dreamweaver-CSS 基本 (css プロパティと値について)
12	Dreamweaver-CSS 基本 (css プロパティと値について)
13	Dreamweaver-マークアップした html ファイルをスタイルシート使用してレイアウト
14	Dreamweaver-マークアップした html ファイルをスタイルシート使用してレイアウト
15	期末試験対策
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学 科 名	クロスメディア情報学科
科目番号	209	科 目 名	Web デザイン演習Ⅱ	科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	専門科目	担当講師	菊川陽子	履修区分	選択必修
開講学年	1年	開講学期	後期	単位数	4
教 科 書	6 ステップでマスターする HTML+CSS		参考書	授業形態	演習
成績評価	平常点 20%、定期試験 40%、提出課題 40%				

1. 授業概要

html・CSS 基本知識、Dreamweaver の基本操作習得とレスポンス Web デザインについて学ぶ

2. 到達目標

前期～後期を通して学んだ画像の編集・作成からレイアウトを考えコーディングし、基本的な WEB ページのデザイン作成とコーディングができる

3. 授業計画

後期	
1	入力フォームページ作成／レスポンス Web デザイン
2	入力フォームページ作成・テーブルによるフォームレイアウト／レスポンス Web デザイン
3	横並びカラムレイアウト (flex、インラインブロック)／レスポンス Web デザイン
4	横並びカラムレイアウト (flex、インラインブロック)／レスポンス Web デザイン
5	CSS position・overflow・iframe について／レスポンス Web デザイン
6	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンス Web デザイン
7	中間試験
8	Photoshop ベクトルマスク～商品一覧ページ作成／レスポンス Web デザイン
9	CSS アニメーション／レスポンス Web デザイン
10	レスポンス Web デザイン
11	レスポンス Web デザイン
12	ポートフォリオサイト制作
13	ポートフォリオサイト制作
14	ポートフォリオサイト制作
15	ポートフォリオサイト制作 課題発表・提出 (期末課題)
16	期末試験
17	試験解説、課題提出

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	電気電子学科	
科目番号	0201	科目名	電気理論基礎		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	電気電子理論	担当講師	秋田谷 徳靖		履修区分	必修	
開講学年	1	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	全部絵で見て覚える第2種電気工事士筆記試験 すい〜っと合格 2021年版. オーム社			参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

担当教員の実務を活かし第二種電気工事士試験相当の電気理論と設計について学習する。
--

2. 到達目標

第二種電気工事士相当の理論を習得し、簡単な配線設計の計算ができる。

3. 授業計画

前期	
1	電気抵抗と抵抗率および導電率
2	抵抗の接続と合成抵抗値、直流回路とブリッジ回路
3	分流器と倍率器、電流の発熱作用と電力量
4	交流電圧、交流回路の基本
5	交流回路の位相差
6	単相交流の直並列回路
7	単相交流回路の電力と力率
8	三相交流回路の電力と力率
9	電圧降下と電力損失
10	中間試験
11	誘導電動機
12	照明機器の光源、蛍光灯点灯回路
13	電気機器の力率
14	配電方式と対地電圧
15	絶縁電線の許容電流
16	電線を保護する過電流遮断器
17	屋内幹線と分岐回路
18	屋内幹線の設計
19	分岐回路の設計
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

学 科 名	電気電子学科
科目番号	0207
科目名	電子回路 1
科目区分	専任 実務経験教員
科目群	電気電子理論
担当講師	秋田谷 徳靖
履修区分	必修
開講学年	1
開講学期	前期
単位数	2
授業形態	講義
教科書	電子回路概論. 実教出版
参考書	
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%

1. 授業概要

担当教員の実務を活かして半導体素子の役割とアナログ電子回路について学習する。

2. 到達目標

半導体素子の役割を理解し、増幅回路の設計ができるようになる。

3. 授業計画

前期	
1	半導体と原子、自由電子と正孔の働き、半導体の種類、キャリアのふるまい、p n接合
2	p n接合ダイオード、ダイオード回路、ダイオードの最大定格、ダイオードの利用
3	トランジスタの基本構造、トランジスタの基本動作
4	トランジスタの静特性、トランジスタの最大定格
5	接合形FET、MOS FET、サイリスタ、ホトトランジスタ、その他の半導体素子
6	集積回路（IC）の製造と分類、集積回路の特徴と分類
7	増幅の原理、増幅器の分類
8	トランジスタによる増幅の原理、トランジスタの基本増幅回路
9	トランジスタのhパラメータと小信号等価回路
10	中間試験
11	バイアス回路の安定度、バイアス回路の種類と特徴
12	トランジスタによる小信号増幅回路の基本特性
13	トランジスタによる小信号増幅回路のバイアス回路の設計
14	電圧増幅度と入出力インピーダンス、結合コンデンサとバイパスコンデンサの計算
15	接合形FETの小信号基本増幅回路と等価回路、バイアス回路、増幅器のバイアスと回路特性
16	負帰還の原理、エミッタ抵抗による負帰還、エミッタホロワ、多段増幅回路の負帰還
17	差動増幅回路の概要、演算増幅器の特性と等価回路、演算増幅器の基本的な使いかた
18	電力増幅回路の基礎、A級シングル電力増幅回路、B級プッシュプル電力増幅回路
19	高周波増幅の基礎、高周波増幅回路の特性
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	電気電子学科	
科目番号	0208	科目名	電子回路 2		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	電気電子理論	担当講師	秋田谷 徳靖		履修区分	必修	
開講学年	1	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	電子回路概論. 実教出版			参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

担当教員の実務を活かしアナログ電子回路の様々な応用について学習する。

2. 到達目標

デジタル回路や通信工学、データ通信の学習に必要な基礎技術を説明できる。

3. 授業計画

後期	
1	発振回路のなりたち、発振回路の原理、発振回路の分類
2	反結合発振回路、ハートレー発振回路、コルピッツ発振回路
3	ウィーンブリッジ形発振回路の原理と実際例、CR位相形発振回路
4	水晶振動子、水晶発振回路の種類と特徴、水晶発振回路の実際例
5	VCOの原理、PLL回路
6	変調・復調の意味、変調・復調の種類
7	振幅変調（AM）の基礎、振幅変調波の電力、振幅変調回路、振幅変調波の復調
8	周波数変調（FM）、周波数変調波の復調
9	位相変調（PM）・復調、パルス変調の種類
10	中間試験
11	パルス波形、パルスの応答
12	非安定マルチバイブレータ、単安定マルチバイブレータ
13	双安定マルチバイブレータ、ICを用いたマルチバイブレータ
14	クリップ、リミタ
15	スライサ、シュミットトリガ回路
16	制御形電源回路の構成、変圧回路、いろいろな整流回路
17	コンデンサ平滑回路、電源回路の諸特性
18	直列制御安定化回路、3端子レギュレータ
19	スイッチング制御、チョップ形スイッチング電源回路、制御形電源回路との比較
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	電気電子学科	
科目番号	0209	科 目 名	デジタル回路 1		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	電気電子理論	担当講師	秋田谷 徳靖		履修区分	選択必修	
開講学年	2	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	デジタル回路の基礎. 森北出版株式会社		参考書	デジタル回路. コロナ社			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

担当教員の実務を活かしスマート保安人材に求められるデジタル技術を学習する。

2. 到達目標

人工知能（AI）にも必要なコンピューターの各種回路設計に必要なブール代数を説明できる。

3. 授業計画

前期	
1	デジタル表示とアナログ表示、デジタル化社会
2	記数法
3	n進数から10進数への変換
4	10進数からn進数への変換
5	2/4/8/16進数の間の相互変換
6	負の2進数の表し方
7	2の補数表記の2進数の加算
8	2の補数表記の2進数の乗算
9	2進化10進符号
10	中間試験
11	ブール代数表現の準備
12	真理値と真理値表
13	ブール演算子と論理式
14	ブール代数の性質と応用例
15	論理式から真理値表への変換
16	真理値表から論理式への変換
17	加法標準形と乗法標準形
18	真理値表と論理式の特徴、簡単化の考え方
19	カルノー図を用いた論理式の簡単化、未定義組み合わせをもつ論理式の簡単化
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	電気電子学科	
科目番号	0210	科目名	デジタル回路2		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	電気電子理論	担当講師	秋田谷 徳靖		履修区分	選択必修	
開講学年	2	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	デジタル回路の基礎. 森北出版株式会社		参考書	デジタル回路. コロナ社			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

担当教員の実務を活かしスマート保安人材に求められるデジタル技術を学習する。

2. 到達目標

人工知能（AI）に必要なコンピューターで用いられる代表的な回路が設計できる。
--

3. 授業計画

後期	
1	基本論理素子と論理回路記号、論理回路の設計
2	組み合わせ回路の設計手順、AND・OR 2段回路とOR・AND 2段回路
3	ブール代数の完全系、NAND 2段回路、NOR 2段回路
4	ファンインとファンアウト、ファンインに制限のある場合の組み合わせ回路の構成法
5	組み合わせ回路と順序回路の違い、順序回路の表し方
6	順序回路の定義、状態割り当て
7	フリップフロップの基礎、RSフリップフロップ、クロック付RSフリップフロップ
8	JKフリップフロップ、Dフリップフロップ、Tフリップフロップ、動作の解析
9	順序回路の設計手順、フリップフロップの励起表の作成、励起表を用いた順序回路の設計
10	中間試験
11	同期式カウンタ
12	非同期式カウンタ
13	レジスタ
14	基本加算回路
15	多桁の加算回路
16	減算回路と加減算回路
17	比較回路
18	エンコーダとデコーダ
19	マルチプレクサとデマルチプレクサ
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学 科 名	電気電子学科
科目番号	0407	科 目 名	通信工学	科目区分	専任 実務経験教員
科 目 群	電気利用伝送処理	担当講師	秋田谷 徳靖	履修区分	選択必修
開講学年	2	開講学期	前期	単位数	2
授業形態	講義				
教 科 書	分かりやすい通信工学. コロナ社		参考書	わかる AI・DD 全資格[基礎]改訂版. リックテレコム	
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%				

1. 授業概要

担当教員の実務を活かし有線電気通信工学に関する技術と、その周辺技術について学習をする。

2. 到達目標

スマート保安人材に必要な電気通信の技術的知識を説明でき、伝送量などの計算ができる。

3. 授業計画

前期	
1	通信システムの概要、通信システム、通信ネットワーク
2	アナログ伝送とデジタル伝送、通信の多重化方式
3	電話機、交換機
4	通信ケーブルの特性、通信ケーブルの種類と構造
5	データ通信システム、データ伝送方式、モデム、伝送制御、プロトコルと階層モデル、I SDN
6	光半導体の特性、光ファイバによる光の伝搬と光ファイバの種類、光通信システム
7	電気通信事業法の概要、有線電気通信法の概要
8	伝送量の計算法、1次定数と分布定数回路、インピーダンス整合
9	演習：伝送量の計算、インピーダンス整合
10	中間試験
11	反射、反響、漏話減衰量の計算
12	接続品質、安定品質、伝送品質
13	ひずみ、雑音、各種ケーブルの伝送特性
14	無線通信の概要、電波とアンテナ、AM、FM、レーダ
15	ファクシミリ
16	テレビジョン
17	マルチメディア通信技術
18	通信装置の入出力機器
19	演習：漏話減衰の計算、ケーブルの漏話特性、電力線からの誘導作用、ひずみ、反射
20	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	電気電子学科	
科目番号	0408	科 目 名	データ通信		科目区分	専任 実務経験教員	
科 目 群	電気利用伝送処理	担当講師	秋田谷 徳靖		履修区分	選択必修	
開講学年	2	開講学期	後期	単位数	2	授業形態	講義
教 科 書	通信ネットワーク技術の基礎と応用. コロナ社			参考書			
成績評価	試験（中間試験、期末試験）80%、平常点（課題提出）や授業への貢献度 20%						

1. 授業概要

担当教員の実務を活かしデータ通信工学の基本技術を学習する。

2. 到達目標

スマート保安人材に必要なデータ通信技術の基礎知識を説明できる。

3. 授業計画

後期	
1	ネットワーク発展の経緯
2	ネットワーク要素と基本機能、階層モデル、ネットワークアーキテクチャ
3	各種ネットワーク、トランスポート層におけるコネクション
4	ネットワークの構造と形態、トポロジー、物理リンクと論理リンク
5	ナイキストの定理、音声符号化
6	オーディオ情報符号化、画像符号化
7	xDSL、光アクセス、ケーブルアクセス、ISDN アクセス
8	無線アクセス、携帯電話
9	デジタル伝送技術
10	多重伝送技術
11	マルチアクセス制御
12	マルチアクセスプロトコル
13	電話番号、経路制御、電話交換の原理、輻輳制御
14	インターネット、IP アドレス、経路制御
15	インターネットのトランスポート層、UDP、TCP
16	通信トラヒックと呼量、交換機出回線数、トラヒック設計
17	IP 電話の基本構成、H.323 制御プロトコル、SIP
18	NGN の基本構造、NGN アーキテクチャ
19	データセンタネットワークと SDN、サービスチューニング
20	IoT ネットワーク、スマートグリッド

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築学科
科目番号	0304	科目名	都市計画	科目区分	専任・実務家教員
科目群	建築計画	担当講師	小川 貴之	履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	2
教科書	『都市計画とまちづくりがわかる本』伊藤雅春他 彰国社 教材・参考書：随時プリントを配布				
成績評価	試験（中間試験、期末試験）、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。				

1. 授業概要

歴史的、技術的な側面から、都市計画・まちづくりの基本を学ぶ。

2. 到達目標

事例を通して、都市計画、まちづくりの手法や法規的制約などの知識が習得できる。
講義形式を基本とするが、KJ法を用いたワークショップを行うなど実用的な学習も体験する。
担当教員は、都市計画マスタープラン策定委員に関わった経験があり、都市計画、まちづくりの実務経験に基づき実際の業務に近い授業を展開する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	都市とは何か。都市計画、まちづくりの定義
3	世界の都市計画史と思潮-1 古代～近世まで
4	日本の都市計画史と思潮-2 近代～現代まで
5	日本の都市計画史と思潮
6	都市計画史まとめ
7	都市計画の枠組み-1 都市計画と関連法規
8	都市計画の枠組み-2 都市計画法の位置づけと体系
9	都市計画の枠組み-3 都市のマスタープランについて
10	都市計画の枠組み-4 区画整理事業、開発許可制度について
11	都市計画の枠組み-5 地区計画、建築協定について
12	関連法規事例紹介、まとめ
13	諸外国の都市計画制度
14	参加のデザインとまちづくり 事例紹介
15	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-1
16	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-2
17	テーマ別まちづくり-1
18	テーマ別まちづくり-2

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築学科
科目番号	0801	科目名	設計製図 I	科目区分	専任・実務家教員
科目群	設計製図	担当講師	星裕一郎 他	履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	通年	単位数	8
教科書	超入門 建築製図		教材・参考書 参考図面を適宜配布		
成績評価	全課題提出による評価 100%				

1. 授業概要

製図の基本となる線の引き方、線の種類や太さ、製図記号のルールを学習する。

2. 到達目標

各種図面の表現方法を木造・RC造ごとにコピーとオリジナル設計をすることで修得する。

課題に基づいた実習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実務に近いプロセスを経験する課題を行う。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（用具の使い方など）
2	課題－1：「製図の基本」線，文字，記号の練習
3	「製図の基本」線，文字，記号の練習
4	「製図の基本」線，文字，記号の練習
5	課題－2：製図の表現
6	製図の表現
7	製図の表現
8	課題－3：RCの演習 その1 店舗
9	RCの演習 その1
10	RCの演習 その1
11	RCの演習 その1
12	課題－4：RCの演習 その2 住宅
13	RCの演習 その2
14	RCの演習 その2
15	課題－5：RCカフェの設計 その1
16	RCカフェの設計 その1
17	RCカフェの設計 その1
18	RCカフェの設計 その1
後期	
1	課題－6：木造住宅のコピー その1
2	木造住宅のコピー その1
3	木造住宅のコピー その1
4	木造住宅のコピー その1
5	木造住宅のコピー その1
6	課題－7：木造住宅のコピー その2
7	木造住宅のコピー その2
8	木造住宅のコピー その2

9	木造住宅のコピー その2
10	木造住宅のコピー その2
11	木造住宅のコピー その2
12	課題－8：木造住宅兼店舗の設計
13	木造住宅兼店舗の設計
14	木造住宅兼店舗の設計
15	木造住宅兼店舗の設計
16	木造住宅兼店舗の設計
17	木造住宅兼店舗の設計
18	木造住宅兼店舗の設計

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築学科
科目番号	0802	科目名	設計製図Ⅱ	科目区分	専任・実務家教員
科目群	設計製図	担当講師	小川貴之 他	履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	4
教科書	建築製図		教材・参考書 プリント・写真・建築雑誌		
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。				

1. 授業概要

各課題を通して、製図方法、技術的課題、空間の把握を学ぶ。

2. 到達目標

コンセプトから具体的建築へと展開する設計のプロセスを身につける。

課題に基づいた演習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実際の実務に近いプロセスを経験する課題を行う。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション 講師事例紹介、構造別講義
2	第1課題「集まって住む（集合住宅）」 課題説明、事例調査、敷地模型制作
3	事例発表、エスキスチェック
4	エスキスチェック
5	作図1（平面図・断面図・立面図）
6	作図2（平面図・断面図・立面図）
7	作図3（まとめ）
8	プレゼンテーション準備
9	発表
10	第2課題「保育園の設計」 課題説明、事例調査
11	事例発表、エスキスチェック
12	エスキスチェック
13	エスキスチェック
14	作図1（平面図・断面図・立面図）
15	作図2（平面図・断面図・立面図）
16	作図3（まとめ）
17	プレゼンテーション準備
18	発表

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築学科
科目番号	1001	科目名	パースペクティブ	科目区分	兼任・実務家教員
科目群	造形基礎	担当講師	牟禮智絵子 他	履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	前期	単位数	4
教科書	基本・建築製図と表現方法		教材・参考書 プリント		
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。				

1. 授業概要

軸測投影法（アクソメトリック）、透視図法（1消点透視法、2消点透視法）の表現方法を学ぶ。

2. 到達目標

視覚表現による他者とのコミュニケーション力の修得する

課題に基づいた演習とするが、有名建築を題材とし、クライアントへのプレゼンテーションに活かせる手法を学ぶ。

担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいたプレゼンテーション手法を指導する。

3. 授業計画

前期	
1	はじめに（自己紹介、授業内容、目標）
2	建築の仕事、パースの仕事、スケッチ演習
3	スケッチ演習発表
4	軸測投影法（アクソメトリック）・ブロック1
5	軸測投影法（アクソメトリック）・ブロック2
6	軸測投影法（アクソメトリック）・立方体1
7	軸測投影法（アクソメトリック）・立方体2
8	軸測投影法（アクソメトリック）・室内
9	色・着彩（1）
10	色・着彩（2）
11	軸測投影法（課題）
12	軸測投影法（課題）
13	軸測投影法（課題）
14	軸測投影法（課題）
15	軸測投影法（課題）
16	色・着彩（1）
17	色・着彩（2）
18	軸測投影法・まとめ
後期	
1	夏休み課題（講評会）
2	1消点透視法（パース）1
3	1消点透視法（パース）2
4	2消点透視法（パース）1
5	2消点透視法（パース）2
6	2消点透視法（課題）ビル
7	2消点透視法（課題）ビル

8	2 消点透視法 (課題) ビル
9	2 消点透視法 (課題) ビル
10	2 消点透視法 (課題) ビル (着彩)
11	2 消点透視法 (課題) ビル (着彩)
12	2 消点透視法 (応用) 1
13	2 消点透視法 (応用) 2
14	2 消点透視法 (応用) 3
15	2 消点透視法 (応用) 4
16	簡易パースの演習 1
17	簡易パースの演習 2
18	消点透視法まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築科
科目番号	0204	科目名	都市計画	科目区分	専任・実務系教員
科目群	建築計画	担当講師	小川 貴之	履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	後期	単位数	2
教科書	『都市計画とまちづくりがわかる本』伊藤雅春他 彰国社 教材・参考書：随時プリントを配布				
成績評価	試験（中間試験、期末試験）、平常点や授業への貢献度を加味して総合的に評価する。				

1. 授業概要

歴史的、技術的な側面から、都市計画・まちづくりの基本を学ぶ。

2. 到達目標

事例を通して、都市計画、まちづくりの手法や法規的制約などの知識が習得できる。
講義形式を基本とするが、KJ法を用いたワークショップを行うなど実用的な学習も体験する。
担当教員は、都市計画マスタープラン策定委員に関わった経験があり、都市計画、まちづくりの実務経験に基づき実際の業務に近い授業を展開する。

3. 授業計画

後期	
1	ガイダンス（授業概要説明）
2	都市とは何か。都市計画、まちづくりの定義
3	世界の都市計画史と思潮-1 古代～近世まで
4	日本の都市計画史と思潮-2 近代～現代まで
5	日本の都市計画史と思潮
6	都市計画史まとめ
7	都市計画の枠組み-1 都市計画と関連法規
8	都市計画の枠組み-2 都市計画法の位置づけと体系
9	都市計画の枠組み-3 都市のマスタープランについて
10	都市計画の枠組み-4 区画整理事業、開発許可制度について
11	都市計画の枠組み-5 地区計画、建築協定について
12	関連法規事例紹介、まとめ
13	諸外国の都市計画制度
14	参加のデザインとまちづくり 事例紹介
15	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-1
16	参加のデザインとまちづくり ワークショップ体験-2
17	テーマ別まちづくり-1
18	テーマ別まちづくり-2

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築科
科目番号	0701	科目名	設計製図 I	科目区分	専任・実務家教員
科目群	設計製図	担当講師	星裕一郎 他	履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	通年	単位数	8
教科書	『建築製図 基本の基本』学芸出版社		教材・参考書：プリント配布、必携建築資料		
成績評価	課題図面全提出による評価 100%				

1. 授業概要

製図の基本となる線の引き方、線の種類や太さ、製図記号のルールを学習する。

2. 到達目標

各種図面の表現方法を木造・RC造ごとにコピーとオリジナル設計をすることで修得する。

課題に基づいた実習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実務に近いプロセスを経験する課題を行う。担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション（用具の使い方など）
2	課題－1：「製図の基本」線，文字，記号の練習
3	「製図の基本」線，文字，記号の練習
4	「製図の基本」線，文字，記号の練習
5	課題－2：製図の表現
6	製図の表現
7	製図の表現
8	課題－3：RCの演習 その1 店舗
9	RCの演習 その1
10	RCの演習 その1
11	RCの演習 その1
12	課題－4：RCの演習 その2 住宅
13	RCの演習 その2
14	RCの演習 その2
15	課題－5：RCカフェの設計 その1
16	RCカフェの設計 その1
17	RCカフェの設計 その1
18	RCカフェの設計 その1
後期	
1	課題－6：木造住宅のコピー その1
2	木造住宅のコピー その1
3	木造住宅のコピー その1
4	木造住宅のコピー その1
5	木造住宅のコピー その1
6	課題－7：木造住宅のコピー その2
7	木造住宅のコピー その2
8	木造住宅のコピー その2

9	木造住宅のコピー その2
10	木造住宅のコピー その2
11	木造住宅のコピー その2
12	課題－8：木造住宅兼店舗の設計
13	木造住宅兼店舗の設計
14	木造住宅兼店舗の設計
15	木造住宅兼店舗の設計
16	木造住宅兼店舗の設計
17	木造住宅兼店舗の設計
18	木造住宅兼店舗の設計

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築科		
科目番号	0702	科目名	設計製図Ⅱ		科目区分	専任・実務家教員	
科目群	設計製図	担当講師	牟禮 智恵子 他		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	4	授業形態	実習
教科書	建築製図			教材・参考書 プリント・写真・建築雑誌			
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。						

1. 授業概要

課題を通して、製図方法、技術的課題、空間の把握を学ぶ。

2. 到達目標

<p>コンセプトから具体的建築へと展開する設計のプロセスを身につける。</p> <p>課題に基づいた演習を基本とするが、実際の敷地を設定し、実際の実務に近いプロセスを経験する課題を行う。</p> <p>担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいた建築設計教育を展開する。</p>

3. 授業計画

前期	
1	オリエンテーション 講師事例紹介、構造別講義
2	第1課題「集まって住む（集合住宅）」 課題説明、事例調査、敷地模型制作
3	事例発表、エスキスチェック
4	エスキスチェック
5	エスキスチェック
6	エスキスチェック
7	中間発表
8	プレゼンテーション準備
9	作図1（平面図・断面図・立面図）
10	作図2（平面図・断面図・立面図）
11	作図3（平面図・断面図・立面図）
12	作図4（まとめ）
13	プレゼンテーション準備1（作図、模型製作など）
14	プレゼンテーション準備2（作図、模型製作など）
15	プレゼンテーション準備3（作図、模型製作など）
16	プレゼンテーション準備4（作図、模型製作など）
17	プレゼンテーション準備5（作図、模型製作など）
18	発表

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	建築科
科目番号	0901	科目名	パースパクティブ	科目区分	専任・実務家教員
科目群	造形基礎	担当講師	牟禮 智絵子 他	履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	前期	単位数	4
教科書	基本・建築製図と表現方法		教材・参考書 プリント		
成績評価	各課題の評価と、平常点を総合的に評価する。				

1. 授業概要

軸測投影法（アクソメトリック）、透視図法（1消点透視法、2消点透視法）の表現方法を学ぶ。

2. 到達目標

視覚表現による他者とのコミュニケーション力の修得する

課題に基づいた演習とするが、有名建築を題材とし、クライアントへのプレゼンテーションに活かせる手法を学ぶ。

担当教員は、設計事務所にて設計・監理業務に従事した経験があり、実務経験に基づいたプレゼンテーション手法を指導する。

3. 授業計画

前期	
1	はじめに（自己紹介、授業内容、目標）
2	建築の仕事、パースの仕事、スケッチ演習
3	スケッチ演習発表
4	軸測投影法（アクソメトリック）・ブロック1
5	軸測投影法（アクソメトリック）・ブロック2
6	軸測投影法（アクソメトリック）・立方体1
7	軸測投影法（アクソメトリック）・立方体2
8	軸測投影法（アクソメトリック）・室内
9	色・着彩（1）
10	色・着彩（2）
11	軸測投影法（課題）
12	軸測投影法（課題）
13	軸測投影法（課題）
14	軸測投影法（課題）
15	軸測投影法（課題）
16	色・着彩（1）
17	色・着彩（2）
18	軸測投影法・まとめ
後期	
1	夏休み課題（講評会）
2	1消点透視法（パース）1
3	1消点透視法（パース）2
4	2消点透視法（パース）1
5	2消点透視法（パース）2
6	2消点透視法（課題）ビル
7	2消点透視法（課題）ビル

8	2 消点透視法 (課題) ビル
9	2 消点透視法 (課題) ビル
10	2 消点透視法 (課題) ビル (着彩)
11	2 消点透視法 (課題) ビル (着彩)
12	2 消点透視法 (応用) 1
13	2 消点透視法 (応用) 2
14	2 消点透視法 (応用) 3
15	2 消点透視法 (応用) 4
16	簡易パースの演習 1
17	簡易パースの演習 2
18	消点透視法まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学科	
科目番号	5	科目名	基礎物理学		科目区分	専任実務経験教員	
科目群	基礎分野	担当講師	沢田 雄太		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	前期	単位数	1	授業形態	講義・演習
教科書	まるわかり 基礎物理 南山堂		参考書	なし			
成績評価	試験 90%、平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

医療機器の原理に必要な物理学の知識を基礎から身につける。担当教員は企業において電気・電子回路設計に従事しており、そこで得た、電気回路・電子回路の知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

臨床工学に必要な物理の知識を身につけることで医療工学の応用につなげる。

3. 授業計画

前期	
1	単位と有効数字
2	等速直線運動
3	等加速度直線運動
4	落下運動
5	物体に働く力
6	摩擦力
7	斜面
8	仕事とエネルギー1
9	仕事とエネルギー2
10	温度と熱
11	気体の法則
12	波と音
13	ドップラー効果
14	光
15	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学科	
科目番号	8	科目名	物理・化学実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	基礎分野	担当講師	沢田・山本（克） 他		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	1	授業形態	実習
教科書	プリント教材・共通テキスト			参考書	なし		
成績評価	レポート 90%、発表評価 10%						

1. 授業概要

授業で学ぶ化学や物理の知識を実習を通して理解する。担当教員は企業において電気・電子回路設計に従事しており、そこで得た、電気回路・電子回路の知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

授業で学んだ公式や原理を実習を通して理解する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	化学実習テーマ①（化学実験機材の使い方）
4	化学実習テーマ①（化学実験機材の使い方）
5	化学実習テーマ②（中和滴定）
6	化学実習テーマ②（中和滴定）
7	化学実習テーマ③（中和熱、溶解熱、反応熱）
8	化学実習テーマ③（中和熱、溶解熱、反応熱）
9	総まとめ
10	化学実習テーマ④（沈殿滴定）
11	化学実習テーマ④（沈殿滴定）
12	物理実習テーマ①（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
13	物理実習テーマ①（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
14	物理実習テーマ②（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
15	物理実習テーマ②（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
16	物理実習テーマ③（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
17	物理実習テーマ③（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
18	物理実習テーマ④（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
19	物理実習テーマ④（力と加速度、振り子、ヤング率、光学実験）※毎週実習テーマ変更
20	発表準備
21	発表準備
22	発表準備
23	発表準備
24	実習内容発表1
25	実習内容発表2
26	実習内容発表3
27	実習内容発表4

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学科	
科目番号	26	科目名	電気工学実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門基礎	担当講師	沢田・田口 他		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	1単位	授業形態	実習
教科書	プリント教材・共通テキスト		参考書	なし			
成績評価	レポート 90%、発表評価 10%						

1. 授業概要

臨床工学に必要な電気工学の基礎を実習を通して理解する。担当教員は企業において電気・電子回路設計に従事しており、そこで得た、電気回路・電子回路の知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

直流、交流、過渡現象、共振などを再現し、実習を通して理解する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	オシロスコープの使い方
4	オシロスコープの使い方
5	テーマ①（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
6	テーマ①（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
7	テーマ②（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
8	テーマ②（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
9	テーマ③（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
10	テーマ③（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
11	テーマ④（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
12	テーマ④（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
13	発表準備①
14	発表準備①
15	発表準備②
16	発表準備②
17	実習内容発表
18	実習内容発表
19	実習内容発表
20	実習内容発表

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	臨床工学科
科目番号	40	科目名	生体機能代行技術学	科目区分	実務経験教員
科目群	専門分野	担当講師	有吉洸希、関根久代、佐藤 由起子	履修区分	必修
開講学年	2年次	開講学期	通年	単位数	9単位
教科書	臨床工学講座 呼吸療法装置 医歯薬出版社 プ リント教材・共通テキスト 基礎から分かる透析治療法 パーフェクトガイド 第2版 学研		参考書	臨床工学技士標準テキスト	
成績評価	試験（中間、期末）100%				

1. 授業概要

呼吸、循環、代謝に関わる生体機能代行装置の原理や操作方法、患者管理などの知識を理解する。この授業では教員の経験を活かして、呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるよう生体機能代行装置の基本的知識と技術について学ぶ。

2. 到達目標

各装置の原理、治療方法、適応疾患、操作方法、患者管理、患者の合併症に関する知識を習得する。

3. 授業計画

血液浄化学	1	血液浄化療法総論：血液浄化療法の臨床的意義、医療の中での位置づけ
	2	腎臓・尿路系の解剖整理
	3	腎機能検査：尿検査、血液検査、腎機能検査、簡易検査
	4	腎疾患と病態生理
	5	血液浄化療法の原理、構成
	6	ダイアライザーの性能評価
	7	透析膜：種類と特徴
	8	治療モード：HD、HF、HDF
	9	透析液の組成、浸透圧の計算
	10	抗凝固剤：種類
	11	バスキュラーアクセス：分類、穿刺
	12	前期のまとめ
	13	試験
	14	周辺機器：水処理、供給装置
	15	周辺機器：患者監視装置
	16	患者管理：糖尿病、高齢者
	17	患者管理：その他合併症
	18	患者管理：食事、栄養、薬物療法
	19	安全管理：水質
	20	安全管理：保守点検
	21	安全管理：事故、偶発症
	22	持続的血液浄化療法：適応、原理、膜性能
	23	持続的血液浄化療法：治療条件、膜の種類、特徴、装置
	24	腹膜透析
	25	アフエレーシス：血液吸着、血漿吸着
	26	アフエレーシス：PE、DFPP、CAP

	27	血液浄化療法を取り巻く環境：在宅、腎移植、長時間、短時間頻回、災害
	28	透析室運営：透析室の業務、他職種とのかかわり、
	29	最近のトピック
	30	試験
	1	呼吸療法とは
呼吸療法学	2	ガス交換
	3	呼吸機能検査
	4	スパイロメータと排気量分画、肺コンプライアンス
	5	呼吸不全の病態生理
	6	ARDS,COPD
	7	酸素療法、ボンベ
	8	高気圧酸素療法
	9	ネブライザー、加圧加温法、人工鼻
	10	人工呼吸器回路
	11	人工呼吸器の基本原理
	12	換気方法、換気方式
	13	換気モード
	14	保守点検、トラブル対策
	15	パルスオキシメータ
	16	カプノメータ
	17	在宅呼吸療法
	18	睡眠時無呼吸症候群
	19	小児の呼吸管理
	20	麻酔器
	21	まとめ（国家試験対策 1～6項目）
	22	まとめ（国家試験対策 1～6項目）
	23	まとめ（国家試験対策 7～12項目）
	24	まとめ（国家試験対策 7～12項目）
	25	まとめ（国家試験対策 13～20項目）
	26	まとめ（国家試験対策 13～20項目）
	27	まとめ、国家試験対策
	28	まとめ、国家試験対策
	29	まとめ
	30	テスト
	体外循環装置	1
2		Starling の法則、血管の略語、微小血管の構造、
3		心臓疾患について、動脈疾患
4		心不全とショック、心臓検査、圧波形、略語
5		人工心肺装置の構成、ローラーポンプの特徴
6		遠心ポンプの原理・特徴、流量計について
7		気泡型と膜型の回路
8		摩擦静電気とローラーポンプの組み立て実習
9		血液ガス、ドルトン分圧の法則、AG について

1 0	ガスの運搬、膜型人工肺
1 1	膜の構成、多孔質膜の特徴、膜の製造
1 2	ガス交換の調節、熱交換器、リザーバ、動脈フィルター
1 3	カニューレ、Vent 回路、静脈脱血法
1 4	送血回路（ずり応力、損失係数）回路の可塑剤
1 5	EOG について、ヘパリンコーティング、凝固機構
1 6	活性化凝固測定器、プロタミン、ヘモコン
1 7	装置の種類、心臓手術（DVD）
1 8	中間試験
1 9	生体肺の役目、初期低血圧、カテコラミンについて
2 0	低体温の特徴
2 1	サイトカインと活性化対策、MUF の方法
2 2	心筋保護について（心停止方法と保護方法）
2 3	心筋保護組成の役割、再灌流障害
2 4	希釈の特徴、代用血漿、適正灌流量
2 5	希釈の計算、心不全の分類
2 6	IABP について
2 7	PCPS について、V-V バイパス
2 8	人工心臓、動脈瘤について、事故について
2 9	期末試験
3 0	低侵襲 OP、人工血管について

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学 科 名	臨床工学科	
科目番号	41	科 目 名	生体機能代行技術学実習		科目区分	実務経験教員	
科 目 群	専門分野	担当講師	遠山・井上・関根・他		履修区分	必修	
開講学年	3年次	開講学期	前期	単位数	3単位	授業形態	実習
教 科 書	プリント教材・共通テキスト		参考書	なし			
成績評価	レポート提出 100%						

1. 授業概要

生体機能代行装置を操作することにより、座学で得られた知識をより深く理解する。この授業では教員の経験を活かして、呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるよう生体機能代行装置。の基本的知識と技術について学ぶ。

2. 到達目標

生体機能代行装置の操作、保守を実際行うことにより、技術の習得につなげる。

3. 授業計画

前期	
1	呼吸療法装置 概論
2	(1) 臨床的意義
3	(2) 呼吸系の生理と病態
4	(3) 種類・原理・構造
5	(4) 医用ガスの物性と気体力学
6	(5) 呼吸療法技術
7	(6) モードの確認
8	(7) 周辺医用機器の原理と取扱
9	(8) 患者管理
10	(9) 事故事例と安全対策
11	(10)新しい機器・技術
12	(11)BIPAP
13	(12)保守点検技術
14	(13)ロールプレイング
15	(14) 〃
16	体外循環装置 概論
17	(1) 臨床的意義
18	(2) 循環系の生理と病態
19	(3) 種類・原理・構造
20	(4) 血液物性と流体力学
21	(5) 人工肺の物理
22	(6) 体外循環技術
23	(7) 周辺医用機器の原理と取り扱い
24	(8) IABP・PCPS
25	(9) 患者管理
26	(10)新しい機器・技術
27	(11)人工心臓
28	(12) 〃

29	(13)ロールプレイング
30	(14) //
31	血液浄化装置（人工透析装置を含む）概論
32	(1) 臨床的意義
33	(2) 代謝の生理と病態
34	(3) 血液透析患者の検査データ
35	(4) 種類・原理・構造
36	(5) 流体力学と物質輸送論
37	(6) 血液浄化の物理
38	(7) 血液浄化技術
39	(8) 周辺医用機器の原理と取り扱い
40	(9) 他の血液浄化機器について
41	(10)血液透析患者の一連の流れ
42	(11)プライミング
43	(12)除水誤差測定
44	(13)ロールプレイング
45	(14) //

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学専攻科	
科目番号	13	科目名	電気工学実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門基礎	担当講師	沢田・田口 他		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	1単位	授業形態	実習
教科書	プリント教材・共通テキスト		参考書	なし			
成績評価	レポート評価 100%						

1. 授業概要

臨床工学に必要な電気工学の基礎を実習を通して理解する。講座を担当する教員は、企業において電気・電子回路設計に従事しており、そこで得た、電気回路・電子回路の知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

直流、交流、過渡現象、共振などを再現し、実習を通して理解する。

3. 授業計画

後期	
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	オリエンテーション
5	オシロスコープの使い方
5	オシロスコープの使い方
6	オシロスコープの使い方
7	テーマ①（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
8	テーマ①（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
9	テーマ①（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
10	テーマ②（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
11	テーマ②（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
12	テーマ②（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
13	テーマ③（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
14	テーマ③（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
15	テーマ③（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
16	テーマ④（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
17	テーマ④（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更
18	テーマ④（オームの法則、インピーダンス、過渡現象、共振現象）※毎週実習テーマ変更

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学専攻科	
科目番号	14	科目名	電子工学		科目区分	専任実務経験教員	
科目群	専門基礎	担当講師	沢田 雄太		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	通年	単位数	4単位	授業形態	講義
教科書	医用電子工学 医歯薬出版社			参考書	なし		
成績評価	試験（中間試験、期末試験）90%、平常点や授業への貢献度 10%						

1. 授業概要

臨床工学に必要な電子工学の基礎について理解する。この授業の担当教員は企業において電気・電子回路設計に従事しており、そこで得た、電気回路・電子回路の知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

電子工学に必要なデシベルの計算、オペアンプ、半導体、通信の知識を習得する。

3. 授業計画

1	増幅回路、増幅度・デシベルの計算
2	増幅回路、増幅度・デシベルの計算
3	オペアンプの特徴、基本動作、反転増幅回路
4	反転増幅回路
5	加算回路（反転増幅回路の応用）
6	非反転増幅回路
7	ボルテージフォロワ（非反転増幅回路の応用）
8	差動増幅回路
9	CMRR（同相除去比）
10	CMRR（同相除去比）
11	オペアンプを使用した微分回路・積分回路
12	オペアンプを使用した微分回路・積分回路
13	半導体の性質（n形、p形）
14	半導体の性質（n形、p形）
15	ダイオードの動作原理・特性、定電圧ダイオード
16	整流回路
17	整流回路
18	平滑化回路
19	中間テスト
20	波形整形回路（クリップ回路、クランプ回路）
21	波形整形回路（クリップ回路、クランプ回路）
22	波形整形回路（クリップ回路、クランプ回路）
23	ダイオードを使った論理回路
24	ダイオードを使った論理回路
25	バイポーラトランジスタの動作原理
26	バイポーラトランジスタの動作原理
27	バイポーラトランジスタの接地方法・特性
28	トランジスタ演習
29	トランジスタ演習
30	スイッチング作用（NOT回路動作）、応用回路（NAND、NOR）

3 1	接合形 FET
3 2	MOS-FET (エンハンスメント型)
3 3	MOS-FET (ディプレッション型)
3 4	半導体素子
3 5	無線通信
3 6	オペアンプ演習
3 7	ダイオード演習
3 1	接合形 FET
3 8	トランジスタ演習
3 9	その他演習
4 0	期末テスト

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学専攻科	
科目番号	23	科目名	医用治療機器学		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	山本 将人		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	前期	単位数	2単位	授業形態	講義
教科書	医用治療機器学 医歯薬出版社			参考書	なし		
成績評価	試験 100%						

1. 授業概要

各種医用治療機器について、原理と構造、治療の目的と方法について理解する。担当講師は、医療施設において臨床工学技士として業務に従事しており、そこで得た、医療治療機器に関する知識・経験を学生にフィードバックしている。

2. 到達目標

医療治療機器の原理と構造、治療の実際と保守管理など国家試験に必要な知識を修得する。

3. 授業計画

前期	
1	治療の基礎
2	心臓について・ペースメーカ 1 (目的・適応疾患)
3	ペースメーカ 2 (種類)
4	ペースメーカ 3 (設定項目)
5	ペースメーカ 4 (モード)
6	ペースメーカ 5 (注意事項など)
7	除細動 1 (DC の構成①: 目的・適応・DC 構成)
8	除細動 2 (DC の構成②: Hブリッジ回路～R波同期)
9	除細動 3 (保守点検・事故と対策、AED)
10	除細動 4 (AED・ICD)
11	輸液ポンプ 1
12	輸液ポンプ 2
13	ESWL (結石破碎装置)
14	心血管インターベンション 1
15	心血管インターベンション 2
16	中間試験
17	電気メス 1 (原理・作用・構成)
18	電気メス 2 (事故・点検)
19	マイクロ波手術装置
20	マイクロ波手術装置
21	レーザー 1
22	レーザー 2
23	冷凍手術器
24	ハイパーサーミア
25	超音波吸引機器
26	超音波凝固切開装置
27	内視鏡
28	内視鏡外科手術機器

29	問題演習
30	期末試験

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	臨床工学専攻科	
科目番号	28	科目名	生体機能代行技術学実習		科目区分	実務経験教員	
科目群	専門	担当講師	遠山・井上・山本(将)・関根 他		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	3単位	授業形態	実習
教科書	プリント教材・共通テキスト			参考書	なし		
成績評価	レポート提出 100%						

1. 授業概要

生体機能代行装置を操作することにより、座学で得られた知識をより深く理解する。呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるよう生体機能代行装置。の基本的知識と技術について学ぶ。担当講師は、呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置の適切な操作と保守点検ができるよう生体機能代行装置。の基本的知識と技術について学ぶ。

2. 到達目標

生体機能代行装置の操作、保守を実際行うことにより、技術の習得につなげる。

3. 授業計画

前期	
1	呼吸療法装置 概論
2	(1) 臨床的意義
3	(2) 呼吸系の生理と病態
4	(3) 種類・原理・構造
5	(4) 医用ガスの物性と気体力学
6	(5) 呼吸療法技術
7	(6) モードの確認
8	(7) 周辺医用機器の原理と取扱
9	(8) 患者管理
10	(9) 事件事例と安全対策
11	(10)新しい機器・技術
12	(11)BIPAP
13	(12)保守点検技術
14	(13)ロールプレイング
15	(14) //
16	体外循環装置 概論
17	(1) 臨床的意義
18	(2) 循環系の生理と病態
19	(3) 種類・原理・構造
20	(4) 血液物性と流体力学
21	(5) 人工肺の物理
22	(6) 体外循環技術
23	(7) 周辺医用機器の原理と取り扱い
24	(8) IABP・PCPS
25	(9) 患者管理
26	(10)新しい機器・技術

27	(11)人工心臓
28	(12) 〃
29	(13)ロールプレイング
30	(14) 〃
31	血液浄化装置（人工透析装置を含む）概論
32	(1) 臨床的意義
33	(2) 代謝の生理と病態
34	(3) 血液透析患者の検査データ
35	(4) 種類・原理・構造
36	(5) 流体力学と物質輸送論
37	(6) 血液浄化の物理
38	(7) 血液浄化技術
39	(8) 周辺医用機器の原理と取り扱い
40	(9) 他の血液浄化機器について
41	(10)血液透析患者の一連の流れ
42	(11)プライミング
43	(12)除水誤差測定
44	(13)ロールプレイング
45	(14) 〃

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	介護福祉学科	
科目番号	0504	科目名	高齢者サービス概論		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	介護の 基本	担当講師	曾我 辰也		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	最新・介護福祉士養成講座4「介護の 基本Ⅱ」(中央法規出版)			参考書			
成績評価	試験、授業貢献度等を総合して評価する。具体的には、期末試験 60%、平常点や小問題、授業への 貢献度等 40%で評価する。						

1. 授業概要

- ・高齢者福祉の歴史的変遷と高齢者を取り巻く社会的背景を知り、支援の必要性を学ぶ。
 - ・介護保険サービスの種類やサービスの報酬・算定基準についての理解を深め、介護サービスの提供の場の特性を学ぶ。
 - ・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。
- この授業は教員の在宅介護、居宅介護支援事業所にて介護支援専門員業務の実務経験から、当該科目における高齢者福祉の変遷、介護保険制度の概要、サービスの各論等の要点を伝えるとともに、超高齢社会の課題等について実体験から講義することが出来る。

2. 到達目標

- ・介護保険制度および高齢者支援の目的を理解する。
- ・介護保険サービスの特徴、高齢者介護の実践の場を理解し、介護福祉士に求められる義務・役割を理解する。
- ・チームアプローチによるサービスを提供するために、他職種の業務の理解と連携のイメージが図れる。
- ・介護の現場の運営や経営に関心を持つ。

3. 授業計画

前期	
1	授業オリエンテーション：授業の概要、方法、目標、評価 介護サービスの特性①～介護サービスの意味と特性
2	介護サービスの特性②～ケアマネジメントの意味と仕組み
3	介護サービスの特性③～介護サービスの歴史的変遷と時代背景
4	介護サービスの特性④～介護保険制度 介護保険制度の概要1
5	介護サービスの特性⑤～介護保険制度 介護保険制度の概要2
6	介護サービスの特性⑥～介護保険制度 介護保険制度の概要3
7	介護サービスの特性⑦～地域包括ケアシステム
8	介護サービス提供の場の特性①～訪問系サービス
9	介護サービス提供の場の特性②～通所・短期入所系サービス
10	介護サービス提供の場の特性③～入所・入居系サービス1
11	介護サービス提供の場の特性③～入所・入居系サービス2
12	介護サービス提供の場の特性④～地域密着型サービス1
13	介護サービス提供の場の特性④～地域密着型サービス2
14	介護サービス提供の場の特性⑤～福祉用具・住宅改修
15	試験、授業アンケート

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	介護福祉学科	
科目番号	0801	科目名	介護過程 I		科目区分	専任 実務経験教員	
科目群	介護過程	担当講師	佐伯久美子		履修区分	必修	
開講学年	1年次	開講学期	前期	単位数	2	授業形態	講義
教科書	『最新介護福祉士養成講座9 介護過程』介護福祉士養成講座編集委員会編（中央法規）2019			参考書	授業ごとに配布資料を使用する。		
成績評価	授業の提出物とレポート（期限、書き方の理解と内容、丁寧さ）100%で評価する。						

1. 授業概要

- ・利用者が安心してその人らしく生活するために必要な介護過程の意義を学ぶ。
 - ・介護過程の全体像を理解する。
 - ・自立に向けた介護過程のアセスメントから計画の立案までの展開方法を学ぶ。
 - ・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。
- この授業では教員の介護老人保健施設での介護職員として勤務し、施設ケアプランの研修や介護過程の指導を行なった経験、介護老人保健施設におけるチームアプローチの実践の経験等、授業でわかり易く実践に沿って講義を行うことが出来る。

2. 到達目標

- ・利用者の生活を支えるために、どのような介護の実践においても介護過程の展開における思考方法が基盤となることを理解する。
- ・自立に向けた介護過程の展開について、アセスメントから計画立案までの具体的な方法を理解する。

3. 授業計画

前期	
1	授業オリエンテーション：授業の概要、到達目標、方法、評価について 介護過程の意義・目的：介護過程とは何か、介護過程の意義と目的／事例
2	介護過程の全体像の理解①：介護過程の全体像の理解／身近な事例で考える課題解決過程①
3	介護過程の全体像の理解②：身近な事例で考える課題解決過程②／各プロセスの理解
4	アセスメントの視点①：介護過程の展開の視点（ICF・尊厳を守るケアの実践・個別ケアの実践・生活と人生の継続・生きがいと役割・自立支援・多職種協働と連携・根拠に基づく介護）
5	アセスメントの視点②：ICFの視点に基づくアセスメントの基礎理解（ICFとは何か・ICFの特徴・構成要素）
6	アセスメントの視点③：ICFの視点に基づくアセスメントの情報収集／事例
7	アセスメントの支援④：ICFの視点に基づくアセスメントの解釈・関連付け・統合／事例
8	アセスメント①：情報収集の理解
9	アセスメント②：情報収集の実際／自立に向けた介護過程の展開（事例）
10	アセスメント③：ICFの視点に基づくアセスメント／自立に向けた介護過程の展開（事例）
11	アセスメント④：解釈・関連付け・統合／自立に向けた介護過程の展開（事例）
12	アセスメント⑤：課題と課題の優先順位／自立に向けた介護過程の展開（事例）
13	計画①：目標（介護の目的と目標・活動と参加・「できる活動」「している活動」「する活動」）／自立に向けた介護過程の展開（事例）
14	計画②：支援の内容／自立に向けた介護過程の展開（事例） 実施と評価について
15	前期まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」				学科名	介護福祉学科
科目番号	0802	科目名	介護過程Ⅱ	科目区分	専任 実務経験教員
科目群	介護過程	担当講師	佐伯久美子	履修区分	必修
開講学年	1年次	開講学期	後期	単位数	4
教科書	『最新介護福祉士養成講座9介護過程』介護福祉士養成講座編集委員会編（中央法規）2019		参考書	授業ごとに配布資料を使用する。	
成績評価	授業の提出物とレポート（事例1～3、実習事例）100%で評価する。				

1. 授業概要

- ・事例を通して自立に向けた介護過程の展開および、利用者の状態に応じた介護過程の展開の方法を学ぶ。
- ・ICFの視点に基づくアセスメントの特徴への理解を深める。
- ・根拠ある介護を実践するための専門的視点の活用と、チームアプローチの方法について学ぶ。
- ・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。

この授業では教員の介護老人保健施設での介護職員として勤務し、施設ケアプランの研修や介護過程の指導を行なった経験、介護老人保健施設におけるチームアプローチの実践の経験等、授業でわかり易く実践に沿って講義を行うことが出来る。

2. 到達目標

- ・テキストの事例から、自立に向けた介護過程と利用者の状態に応じた介護過程の展開方法を理解する。
- ・介護過程の展開におけるチームアプローチと介護福祉士の役割を理解する。
- ・介護過程の展開方法を修得し、実際の利用者を理解し、アセスメントすることができる。

3. 授業計画

前期	
1・2	授業オリエンテーション：概要、目標、方法、評価／介護過程の展開方法（復習） 自立に向けた介護過程の展開①：（事例1）情報収集
3・4	自立に向けた介護過程の展開②③：（事例1）心身の状況と活動及び背景の理解／ICFの視点に基づくアセスメント
5・6	自立に向けた介護過程の展開④⑤：（事例1）解釈・関連付け・統合・課題の明確化／介護計画の立案
7・8	自立に向けた介護過程の展開⑥⑦：（事例1）介護計画の検討／介護計画の発表・実施
9・10	自立に向けた介護過程の展開⑧：（事例1）評価・事例1まとめ 利用者の状態に応じた介護過程の展開①：（事例2）情報収集
11・12	利用者の状態に応じた介護過程の展開②③：（事例2）心身の状況と活動及び背景の理解／ICFの視点に基づくアセスメント
13・14	利用者の状態に応じた介護過程の展開④⑤：（事例2）解釈・関連付け・統合・課題の明確化／介護計画の立案
15・16	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑥⑦：（事例2）介護計画の検討／介護計画の発表・実施
17・18	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑧：（事例2）評価・事例1まとめ 介護過程とチームアプローチ①：ケアマネジメントと個別介護過程
19・20	介護過程とチームアプローチ②：多職種連携と介護福祉士の役割 介護過程とチームアプローチ③：（事例3）情報収集
21・22	介護過程とチームアプローチ③：（事例3）心身の状況や背景の理解・多職種連携・サービスの種類／ICFの視点に基づくアセスメント
23・24	介護過程とチームアプローチ③：（事例3）解釈・関連付け・統合・課題の明確化／居宅サービ

	ス計画
25・26	介護過程とチームアプローチ③：(事例3) サービス担当者会議／個別介護計画
27・28	介護過程とチームアプローチ③：(事例3) 個別介護計画発表・事例3まとめ 介護過程の展開の実際①：高齢者施設実習に向けて
29・30	介護過程の展開の実際②：高齢者施設実習の個別事例のアセスメントの発表／まとめ

科目の教育目標・授業計画 「2021年度」					学科名	介護福祉学科	
科目番号	0803	科目名	介護過程Ⅲ		科目区分	兼務実務経験教員	
科目群	介護過程	担当講師	佐伯久美子		履修区分	必修	
開講学年	2年次	開講学期	通年	単位数	4	授業形態	講義
教科書	『最新介護福祉士養成講座9介護過程』介護福祉士養成講座編集委員会編（中央法規）2019			参考書	授業ごとに配布資料を使用する。		
成績評価	授業の提出物、レポート100%で評価する。前後期の配分は50%ずつ。						

1. 授業概要

- ・自立に向けた介護過程の展開を踏まえ、さまざまな状態・状況に応じた介護過程の展開の方法を学ぶ。
- ・介護福祉の実践におけるチームアプローチの意義と実際の方法を学ぶ。
- ・介護実習で担当した利用者の介護過程の展開を振り返り、より適切な方法について考察する。
- ・講義形式を基本とするが、実用的な学習・演習の時間も適宜取り入れる。

この授業では教員の介護老人保健施設での介護職員として勤務し、施設ケアプランの研修や介護過程の指導を行なった経験、介護老人保健施設におけるチームアプローチの実践の経験等、授業でわかり易く実践に沿って講義を行うことが出来る。

2. 到達目標

- ・さまざまな状況や状態の利用者に対しても適切に介護過程を展開するための思考方法が身につく。
- ・専門職のチームの一員として、多職種との連携・協働において介護過程を実践することができる。
- ・介護実習で担当した利用者の介護過程の展開を振り返り、より適切な方法を考察することができる。

3. 授業計画

前期	
1	授業オリエンテーション：概要、目標、方法、評価 介護過程の展開の実際①：高齢者施設実習の個別事例の計画の立案
2	介護過程の展開の実際②：高齢者施設実習の個別事例の計画の発表（グループワーク）
3	介護過程の展開の実際③：高齢者施設実習の個別事例のカンファレンス（グループワーク）
4	介護過程の展開の実際④：高齢者施設実習の個別事例の計画の発表（クラス発表）
5	利用者の状態に応じた介護過程の展開①：（事例1）（情報収集）
6	利用者の状態に応じた介護過程の展開②：（事例1）（心身の状況や背景の理解・アセスメントの視点）
7	利用者の状態に応じた介護過程の展開③：（事例1）（ICFの視点に基づくアセスメント）
8	利用者の状態に応じた介護過程の展開④：（事例1）（解釈・関連付け・統合・課題の明確化）
9	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑤：（事例1）（介護計画の立案）
10	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑥：（事例1）（介護計画の検討）
11	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑦：（事例1）（介護計画の発表・実施）
12	利用者の状態に応じた介護過程の展開⑧：（事例1）（評価・事例1まとめ）
13	介護過程の展開の実際①：介護実習に向けて
14	介護過程の展開の実際②：介護実習に向けて
15	介護過程の展開の実際③：介護実習の振り返り
後期	
1	介護過程の事例研究①：介護過程の事例研究の意義・授業の概要・方法・評価
2	介護過程の事例研究②：介護実習の事例の発表と課題・テーマの検討

3	介護過程の事例研究③：事例紹介の作成・テーマの決定と構成の検討・文献検索
4	介護過程の事例研究④：事例紹介の作成・テーマの決定と構成の検討・文献検索
5	介護過程の事例研究⑤：はじめに・研究目的の作成
6	介護過程の事例研究⑥：はじめに・研究目的の作成
7	介護過程の事例研究⑦：考察の作成
8	介護過程の事例研究⑧：考察の作成
9	介護過程の事例研究⑨：考察の作成
10	介護過程の事例研究⑩：考察の作成
11	介護過程の事例研究⑪：考察の作成
12	介護過程の事例研究⑫：結論・おわりに・文献一覧作成
13	介護過程の事例研究⑬：結論・おわりに・文献一覧作成
14	介護過程の事例研究⑭：抄録の作成
15	介護過程の事例研究⑮：発表について（2月に介護過程の事例研究を発表する）